

児童発達支援ガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月
結果公表日: 2025年3月27日

回答率

事業所職員: 3名回答、回答率 100%
保護者様: 30名回答、回答率 81%

職員の意見

○環境・体制整備

・個々の特性や用途に合わせて、スペースを使い分けることができている。
・法令上の人員基準は満たしている。個別の課題に寄り添った支援を実施するためには配置の工夫が必要である。

○業務改善

・定期的に研修を行っている。階層別の研修も行い、職員のスキルアップを図っている。

○適切な支援の提供

・毎日ミーティングをしており、時間をかけて支援内容について話し合い・共有することができる。また、必要に応じてミーティング以外の場でも情報共有をすることができる。

○関係機関や保護者との連携

・関係機関等との連携について、依頼や希望のあった場合には必要に応じて実施している。より積極的に連携を図る事で支援に活かせると良い。

○保護者への説明責任等

・直接フィードバックができていることは良い点である。1人あたりに対する情報共有の時間が限られているので、情報をまとめて伝える必要がある。

○非常時等の対応

・各種マニュアルの整備がされている。保護者が各種マニュアルの情報を把握していないことがあるため、周知の方法を検討していく必要がある。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・環境・体制整備に関してはどの項目も9割以上の良い評価を頂いた。
- ・集中できる構造であるが個別課題のスペースがすこし狭く感じる、個別課題・小集団課題のスペースが分かれている事やイラストカードなどで予定を示している事がわかりやすいとのご意見があった。

○適切な支援の提供

- ・計画が細かくたてられており、毎回違ったプログラムを提供されており感謝しているとお言葉を頂いた。
- ・保護者同士やお子様同士の関わりを広げるためにイベントなどもう少しあると良い、地域のお子様と関わる機会が持てると嬉しいといったご要望をいただいた。

○保護者への説明等

- ・「個別支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか」という設問に10割の方に「はい」と回答いただいた。
- ・集団のフィードバックのため、質問がしにくいことがある。個別フィードバックの申し込みができるため、面談実施の際には、お子様の共通理解ができていると思うといったご意見をいただいた。
- ・保護者同士のオンライン勉強会や情報交換の機会、メルマガ等の情報発信があると嬉しいとのご要望をいただいた。

○非常時等の対応

- ・非常時のマニュアルについては法令に基づき各種整備しており、避難訓練については月1回実施しているが、「わからない」といった回答が4割あった。

○満足度

- ・9割以上の方に、支援に満足しているにご回答いただいた。
- ・土曜日については、レスパイトのために長時間の支援があると嬉しいといったご意見や、少しずつ出来ることが増えているため、今後大きな成長がみられることをさらに期待しているといったお声もいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・研修の積極的な受講、支援SV(スーパーバイザー)制度の活用、日々の業務前ミーティングの活性化により、職員のスキルアップと意思疎通を図り、一貫した支援が行える体勢を作る。
- ・保護者への説明等については、フィードバック時にその日の支援内容を話すだけでなく、チラシや掲示物により保護者向けアンケートの活用を周知したり、家族支援や関係機関連携のサービスを必要に応じて勧めたりすることで、困りごとを気軽に相談できる体制を作る。
- ・非常時等の対応については、掲示物を作成することで、各種のマニュアルや避難訓練の内容を保護者に分かりやすくお伝えする。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・業務前ミーティングについては、日々丁寧に実施をし、お子様の現課題について共有しながら一貫した支援を行うことができている。
- ・アンケートの活用について、一部の保護者様はご活用いただけたが、全員が活用できているわけではないので、周知方法の検討が必要である。
- ・非常時の対応について、避難場所等は目立つ位置に掲示をしているが、マニュアル等について周知していく必要がある。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・教室内ミーティングを充実させ、個別の課題に沿った内容を実施している事で、支援に満足をしていますかの間に、9割以上の方から高い評価をいただいている。
- ・事業所における支援について、いずれの項目も約9割の高い評価をいただいている。

○改善点

- ・緊急時の対応について、マニュアルの整備や避難訓練の実施状況について伝わっていないというご指摘があったため、掲示方法など検討する必要がある。
- ・SNS等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報の発信ができていないため、ブログの更新を定期的に行っていく。
- ・個別相談の申込フォームがあるが、全員が活用できていない状態のため、周知や掲示方法を検討し、改善していく。
- ・保護者同士の意見交換の場や、勉強会などのニーズがあったので、開催に向けて準備していく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・SNS等を用いた定期的な情報発信を行っていく。
- ・保護者同士の繋がりを持てるよう、勉強会や意見交換会を定期的実施していく。
- ・避難訓練の実施日、内容について待合室に掲示をする。非常時のマニュアルについては、契約時以外の周知の方法を検討し、掲示物等作成していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・ホームページのブログを活用し、日々の取り組み内容や家庭でも実践可能な取り組みについて情報を発信していく。
- ・保護者参加型のイベントや、保護者会の計画を経て、定期的実施をしていく。
- ・避難訓練について、月に1回・1枠のみの実施ではなく、月に1日・3枠全て避難訓練の時間を設けることで、参加していただく頻度を上げる。また、待合室に実施日および内容を掲示することで、周知できるようにする。
- ・お困りごとについて、アンケートフォームについて定期的にお伝えしながら、相談しやすい環境を整える。